



富士にまた新しい伝説の人決まる 「ミスかぐや姫コンテスト」

7月24日 富士まつりの1日目、比奈にある竹採公園で富士市の“華”になるかぐや姫が決まりました。ことしは106人の応募があり、書類審査を通過した20人が浴衣姿でコンテストに参加。自己紹介などで、みんなそれぞれ積極的にアピールしました。

その中で第8代目のミスかぐや姫クイーンに選ばれたのは、市内本町の平岡美奈子さん19歳(写真右)。ミスかぐや姫には、富士宮市の渡辺勝代さん22歳が選ばれました。2人はこれから1年間、市や観光協会などの行事に参加し、富士市のPRに協力していきます。

何人の人が天を仰いだことか…… 「どしゃぶりに泣いた富士まつり」

7月25日 1年に一度青葉通りがFUJIサンバで埋めつくされる富士まつり。しかしことしは、楽しみにしていた人たちの心を裏切るように、お昼ごろからバケツをひっくり返したようなどしゃぶりに。

FUJIサンバオンステージまでは大粒の雨の中行いましたが、音楽パレード、市民総踊りなどは中止。夏の夜空を飾る花火大会も、延期になりました。



オーシャンサイド ナウ vol. ⑨



このコーナーでは、富士市の姉妹都市オーシャンサイドについてお知らせしています。今回は、7月4日～10日に富士市民友好の翼に参加し、オーシャンサイドを訪問してきた山崎穂枝さん(中里)にお話を伺いました。

＝ゴミのないきれいな街＝

去年友達と初めて海外へ行って、ことしもどこか行きたいと思っていました。そんなときに偶然友好の翼を見つけまして、気軽な気持ちで参加してみたんです。

オーシャンサイドには2泊したんですが、一番びっくりしたのはゴミが全然ないこと。街の中にもビーチにも、空き缶やたばこの吸殻などのゴミが落ちてないんです。それときれいな海にも感激しました。海が大きくてすごくきれい。ビーチには、日光浴や魚釣り、マリンスポーツを楽しみに来ている人がいて、とてもんびりしています。

青い空と海、太陽がさんさんと降り注いで暑いには暑いんですが、カラッとしていて過ごしやすい気候。日本に帰ってきたら、蒸し暑くて汗だくで嫌になっちゃいました。

＝友好の翼ならではの体験＝

友好の翼では、普通の海外旅行では行けないような場所へも行くことができました。オーシャンサイド市役所で市長にお会いしましたし、そのほか警察、教育委員会、小学校を見学。小学校はちょうどサマースクールで、障害児と健常児と一緒に勉強していて、驚きました。日本では考えられないよう



△桟橋の先にある市営レストランの前で

なことが多く、生活、文化、習慣の違いを肌で感じることができました。

ただ滞在の時間が少なく、一般の市民と交流する時間が少なく残念でした。もっと長い間滞在できて、ホームステイなど、向こうの人と交流できる場があったら最高ですね。

今回の参加で、非常に有意義な経験ができました。これをきっかけに今度は自分で行きたいところを計画して、旅行してみたいと思います。皆さんも機会がありましたら、この友好の翼をお勧めします。